

公共の緑

空地

植栽

建物

道路

境界

パブリック

コモン

パーソナル

木陰がつくる人の居場所



仕組み

つながり

風景

営み

愛着

安心

来訪



市役所などの公共施設や公園は、街のランドマーク的存在です。それらに付随する緑は塩尻全体の緑化を考えるうえでも、重要な役割を果たします。公園の植栽なら、足元が見通せる高さに剪定するなど、高さ制限を設けることで死角を作らないことにつながり、子どもたちの安全が確保されます。また、多くの人々が利用する公共施設に緑を配置すれば、視覚的に四季が楽しめるだけでなく、木陰が人々の居場所を作りだしたり、穏やかな風が通るなど、豊かな自然を肌でも感じられる空間となりえます。こうした植栽を市民が管理すれば、施設そのものへの愛着も生まれ、さまざまな居場所を作ることにもつながります。